

目次

『インプラントの専門医を取得するための研修マニュアル』 発刊にあたって	3	抗血栓薬投与患者	54
執筆者一覧	6	骨吸収抑制薬投与患者	55
I. 専門医としての倫理	7	VII. 局所的診査・検査・診断	57
医の倫理（医療倫理と研究倫理）	7	インプラント歯科治療のための局所的診査・検査	57
医療倫理	8	インプラント歯科治療における補綴的難症例	61
研究倫理	13	インプラント歯科治療における研究用モデルによる検討	62
II. 歯科基礎医学の知識	15	インプラント歯科治療における画像検査法	63
加齢・歯の喪失による口腔・咽頭領域の形態学的・ 生理学的変化	15	インプラント歯科治療の局所的リスクファクター	66
インプラント歯科治療を実施するうえで必要な解剖学 的構造	17	VIII. 治療計画の立案・説明	68
インプラント歯科治療に用いられる生体材料の特性	20	残存歯や他の欠損部も考慮した一口単位の治療計画	68
オッセオインテグレーションのメカニズム	21	インプラント歯科治療計画と他の欠損補綴治療計画 との違い	69
インプラント歯科治療の歴史的背景	22	患者の要望を反映したインプラント歯科治療	69
III. 医療安全	25	高齢者の特徴に配慮した治療計画	71
医療安全の必要性と対応	25	適切なインプラント体、インプラントの本数	71
口腔インプラント治療における医療事故の防止対策	27	適切な上部構造の選択	72
患者急変時、医療事故への対応	29	治療計画のコンピュータシミュレーション	73
感染対策	31	治療計画の説明書および同意書	74
IV. 医療面接	33	インプラント体の埋入時期・荷重時期	75
医療面接の基本	33	IX. 周術期管理	77
医療面接技法	34	手術時の患者の全身・局所状態の管理	77
インプラントに関する医療面接では	36	インプラント歯科治療時のモニタ監視	78
患者とのコミュニケーション	37	高齢者の生理的機能の特徴	78
V. 全身的診査・検査	38	精神鎮静法の特徴と目的および種類	79
バイタルサインの測定	38	局所麻酔時の合併症（偶発症）	79
既往歴・服用薬の確認	38	X. インプラント体埋入手術	82
医科への照会状	38	術前準備：手術器材の準備と術前管理	82
術前検査	40	インプラント体埋入手術	83
アレルギー検査	40	インプラント体埋入手術の当日の流れ	83
VI. インプラント歯科治療に関係する全身疾患	44	インプラント体埋入手術の術式	89
高血圧症	44	術後管理	95
心疾患	45	抜糸	98
糖尿病	50	二次手術	98
脳血管障害（脳卒中）	53	XI. インプラント歯科関連手術 （骨組織マネージメント・軟組織マネージメント）	101
認知症	53	硬組織関連手術	102
パーキンソン病	53	移植材と遮断膜	107
貧血	54	軟組織関連手術	110
骨粗鬆症	54	術後指導	112
		XII. インプラント歯科補綴	114
		インプラント上部構造の種類	114

インプラント上部構造の製作方法	116	上顎洞内迷入	142
咬合採得	119	誤飲・誤嚥	142
暫間上部構造の目的	120	異常出血	144
可撤性上部構造の種類・アタッチメントの種類	120	異常疼痛	144
CAD/CAM 法	120	上部構造の不具合	146
インプラント上部構造の咬合	121	インプラント体の脱落	147
		他院で処置されたインプラント患者への対応	148
X III . 広範囲顎骨欠損症例	122	付録	150
広範囲顎骨欠損とその疾病背景	122	インプラント治療説明書例	150
広範囲顎骨支持型装置、広範囲顎骨支持型補綴、広範囲顎骨支持型装置埋入手術の定義	123	インプラント問診票例	151
広範囲顎骨支持型装置埋入手術の適応症（保険適用条件）	123	インプラントチェックリスト例	152
広範囲顎骨支持型装置埋入手術を実施できる施設の要件	124	照会状例	153
広範囲顎骨支持型装置の保健医療と診療報酬	124	インプラント治療に関する説明書（インフォームド・コンセント）例	154
広範囲顎骨欠損症例での治療例	125	治療計画書・同意書例	158
広範囲顎骨欠損症例での補綴	125	国際インプラント手帳	160
他科連携とフォローアップ	126	記載参考資料	161
病診連携とフォローアップ	128	骨補填材：歯科・口腔外科領域での厚生労働省の承認材料	162
		メンブレン	164
X IV . メインテナンス	129	特別付録	166
インプラント治療の情報提示について	129	ガイストリッヒ バイオオス	166
メインテナンスの重要性	130	ガイストリッヒ バイオガイド	167
メインテナンスの目標	130	ジーシー サイトランス グラニューール	168
メインテナンスの内容と流れ	130	ジーシー サイトランス エラシールド	169
インプラント周囲粘膜炎とインプラント周囲炎への対処	135	NeoGen（ネオジェン）	170
		ボナーク	171
X V . 併発症例への対応	138	索引	172
神経損傷	139		
上顎洞炎	141		

■ 本書の構成と使用方法

本書は、インプラントの専門医を目指す歯科医師のための研修カリキュラムに基づいて作られたマニュアル本である。カリキュラムでは、到達目標として、**一般目標（general instructional objective : GIO）**と**行動目標（specific behavioral objectives : SBOs）**が設定されている。**GIO**とは、その教育により期待される成果を指し、専門医研修の**GIO**は、「専門医として適切な医療を行うために、インプラント治療に必要な態度、知識、技能を身につけること」である。**SBOs**とは、観察可能な具体的行動、すなわち動作を伴う態度や技能だけでなく、暗記し、理解し、応用するなど、知識の領域も含まれる目標である。

本書では、到達目標が確認しやすいよう、各章のはじめに**GIO**と**SBOs**のチェックリストを掲載し、さらに**SBOs**の細目では、修得すべき**GIO**を**態知技**のマークで記載した。また、重要事項・用語は本文中に太字で示した。